# 病室用ユニットルーム
## １床室用トイレ付シャワーユニット
## ＳＬＣＰ－１２１５ＴＡＨ

# 施工説明書

施工に先立って、この施工説明書をよく読み手順に従って
正しく施工してください。

## 注意

ユニットルームの取扱説明書およびシャワートイレ２４０ＵＥなど機器に同梱されている取扱説明書はお客様に製品を正しく使用していただくための重要な書類です。
工事完了後、お客様の手元へ届くように建築工事責任者に依頼またはお渡しください。

## 施工前の注意

シャワートイレ２４０ＵＥ等のオプション品に同梱されている施工説明書をよく確認の上、施工を行ってください。

## 施工にあたっての注意

●作業は手袋着用の上行ってください。防水パンなどＦＲＰ裏面、及び金属部品等の端部は取扱いにご注意ください。
●ＦＲＰ、裏面保温ウレタンは可燃物です。タバコの火、バーナー等の火気に気を付けてください。

# 安全上のご注意（必ずお守りください）

据付工事の前に、この安全上のご注意をお読みの上、正しく据え付けてください。
この表示マークや絵表示をご理解いただき、正しく施工してください。

## 表示マークおよび絵表示の説明

◎表示マークについて

表示内容を無視して誤った工事をしたときに生じる、危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠ 警告 | この表示の欄は、「死亡または重傷等を負う可能性が想定される」内容です。 |
| ⚠ 注意 | この表示欄は、「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |

◎絵表示について

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

| | |
|---|---|
| ⚠ | この絵表示は気を付けていただきたい「注意喚起」の内容です。 |
| ❗ | この絵表示は必ず実行していただく「強制」の内容です。 |
| ⏚ | この絵表示は、アース工事を依頼していただく「注意喚起」の内容です。 |

ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や物的損害に結びつくものです。
**安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。**

### ⚠ 警告

配線工事は関連する法令・規定に従って、必ず「有資格者」が行ってください。 ❗
＊接続や固定が不完全な場合は、火災や漏電のおそれがあります。

アース工事を確実に依頼してください。 ⏚
＊故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

### ⚠ 注意

鏡、握りバーなどの付属部品は、指定位置に確実に取付けてください。 ❗
＊使用中に落下したり外れたりして、ケガをするおそれがあります。

給水・給湯管、排水管などは、施工説明書通りに確実に施工してください。 ❗
＊水もれのおそれがあります。

# １．施工前の確認

１．部材の確認・部材管理表と部材の員数・破損の有無等を確認してください。

２．ユニット据付部分の状況、配管持ち出し、トラップ位置等の確認をしてください。

３．搬入できることを確認してください。

# ２．施工方法

## １防水パンの据付け

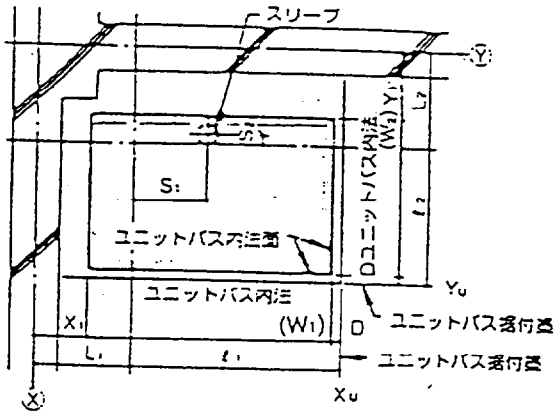
### １－１墨出し

(1)建築の担当者に通り芯から逃げ墨までの寸法を確認してください。(一般に逃げ墨で 1000mm 返りなどの記載があります。)

(2)ユニットルーム施工図の納まり図に X1･Y1 の寸法が記載されていますので、この寸法を基準に据付墨までの寸法 l1･l2 を算出し、逃げ墨から所定の寸法をとって据付墨を打ってください。

l1=W1+X1+D-L1　　l2=W2+Y1+D-L2

(3)スラブ貫通用スリーブがある場合は、同様に計算し、S1･S2 を算出しスリーブ位置を確認してください。

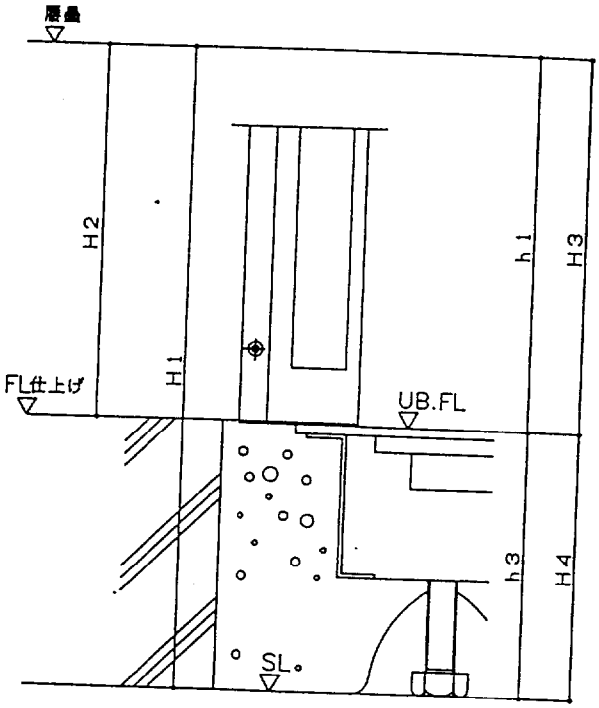



| 符号 | 説明 | 符号 | 説明 |
|---|---|---|---|
| (X) | X方向の通り芯 | (Y) | Y方向の通り芯 |
| L1 | X方向通り芯から逃げ墨までの寸法 | L2 | Y方向通り芯から逃げ墨までの寸法 |
| X1 | X方向通り芯からﾕﾆｯﾄﾙｰﾑ内寸法までの寸法 | Y1 | Y方向通り芯からﾕﾆｯﾄﾙｰﾑ内寸法までの寸法 |
| l1 | X方向逃げ墨からﾕﾆｯﾄﾙｰﾑ据付墨までの寸法 | l2 | Y方向逃げ墨からﾕﾆｯﾄﾙｰﾑ据付墨までの寸法 |
| Xu | X方向ﾕﾆｯﾄﾙｰﾑ据付墨 | Yu | Y方向ﾕﾆｯﾄﾙｰﾑ据付墨 |
| S1 | X方向逃げ墨からｽﾘｰﾌﾞ芯までの寸法 | S2 | Y方向逃げ墨からｽﾘｰﾌﾞ芯までの寸法 |
| D | ﾕﾆｯﾄﾙｰﾑ内寸法から扉枠額縁ｱﾝｸﾞﾙ先端までの寸法（一般の扉の場合 65mm） | | |

## 1－2据付高さの決定

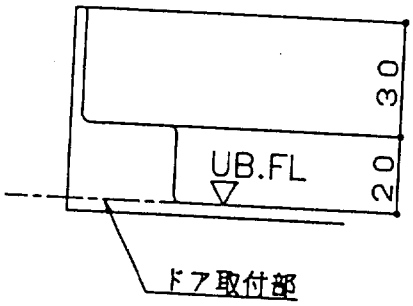
(1)ユニット据付はコンクリート天端(SL)を基準に図面表示してありますが、実際のコンクリート面は多少高低があるので、ユニット据付けは必ず腰墨を基準にしてください。

(2)建築の腰墨は、SLを基準に一定の逃げ寸法でうってあるのでこの腰墨を基準に高さを決めてください。
(高さ決めはH3を基準とする。H3=H1-H4)



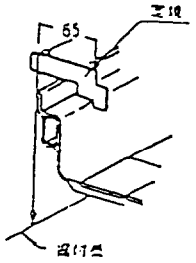

| 符号 | 説明 |
|---|---|
| H1 | 腰墨・SL間 |
| H2 | 前室FL・腰墨間 |
| h1 | ﾄﾞｱ設置面・腰墨間 |
| h3 | UBFL高さ(150mm) |
| H3 | 腰墨・防水パン(ﾄﾞｱ取付位置)上端 |
| H4 | SL・防水パン(ﾄﾞｱ取付位置)上端 |

★一般部（パネル載置部）の上端は、ドア取付部＋50mmとなります。



### 1－3据付け

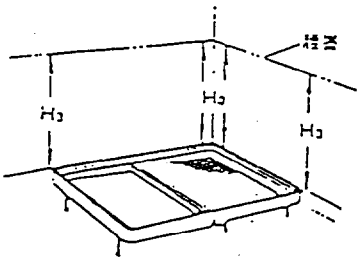
(1)防水パンを所定の位置に仮置きし、ユニットルーム水切面から先に打った据付墨を基準に防水パンを移動調節してください。調節に際しては、右図のような定規を造っておくと便利です。




(2)ボルトのレベル調整

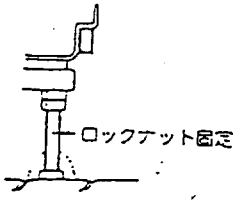
先に算出した腰墨と防水パン上端面間(H3)の寸法を確認し腰墨から防水パン上端面間を実測し、調節ボルトの出を調節して高さを合せてください。次に、４辺のパネル設置面が水平か否かを水平器にて確認した後再度平面据付位置の移動がないかを調べて、調節ボルトのロックナットを締付け固定してください。

＊防水パンのレベル調節が不良の場合、床に水が溜まる事がありますので十分注意をはらってください。




(3)調節ボルトを接着剤またはモルタルを根巻きするように固定してください。

＊モルタルを打つ場合は、モルタル中の水分がスラブに吸われてしまいモルタルとスラブとの接着強度を低下させますのでモルタル固定の前に必ず固定面には水を打ってください。尚、モルタル材料は、建築からの至急品となっているので必要な際は予め依頼しておいてください。

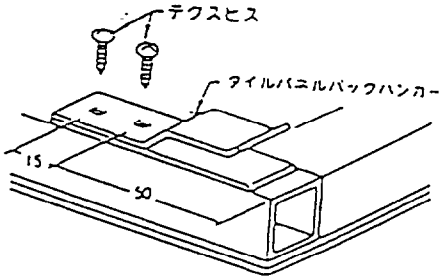



## 2．壁パネルの組立て

### 2－1組立て前の準備

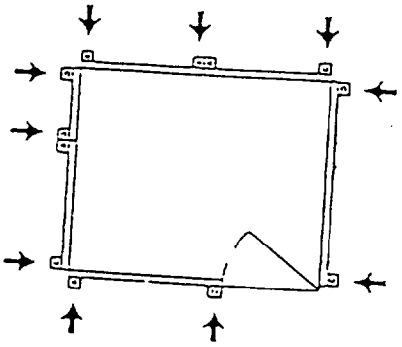
(1)パネル梱包をといて、壁に立て掛けるか、水平に置いてください。といた荷造りダンボール等は、まとめて所定の位置へ整理するようにしてください。

「パネル割付図」に記入されたパネルがそろっているか破損等がないかよく確認してください。




(2)タイルパネルバックハンガーの取付け

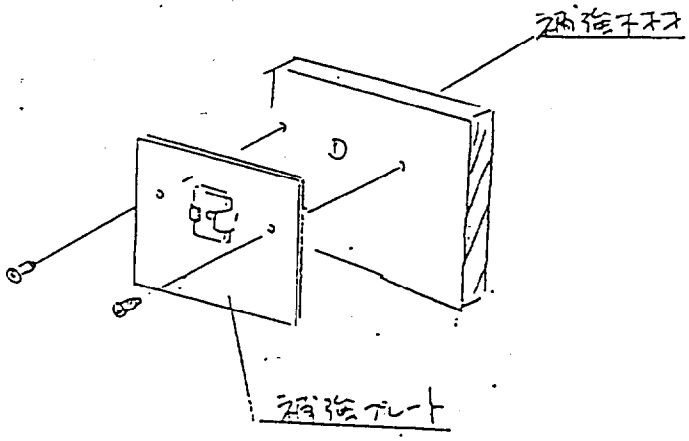
パネル割付図を確認し、タイルパネルバックハンガーを取付けるパネルを確認してください。パネル裏面縦フレームの所定の位置にバックハンガーをテクスビス固定してください。



(3)握りバー補強プレートの取付け

握りバー取付け部である壁パネル裏面に貼り付けられた補強木材に、補強プレートをビス固定してください。

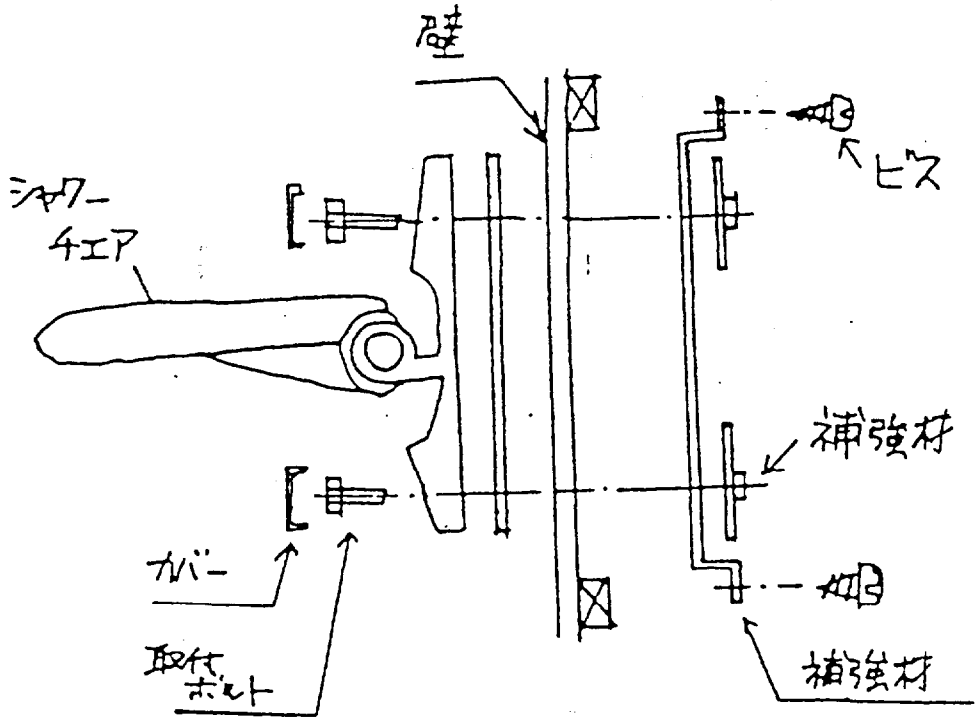
（握りバー取付け部はあらかじめ壁パネルに下穴が開孔されています。）



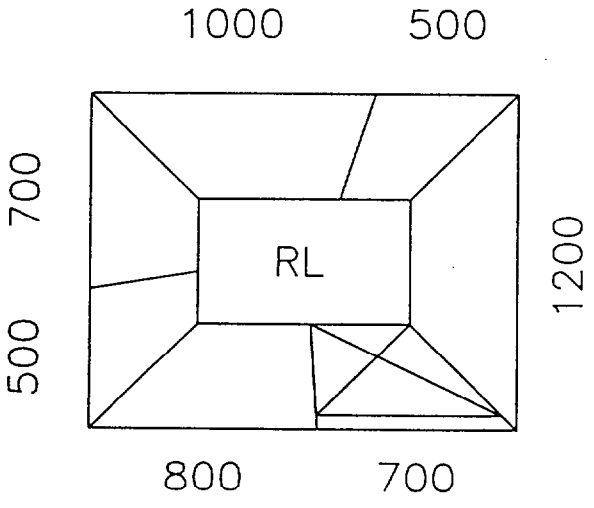

注）補強プレートは、シリコンを塗ってからビス固定してください。

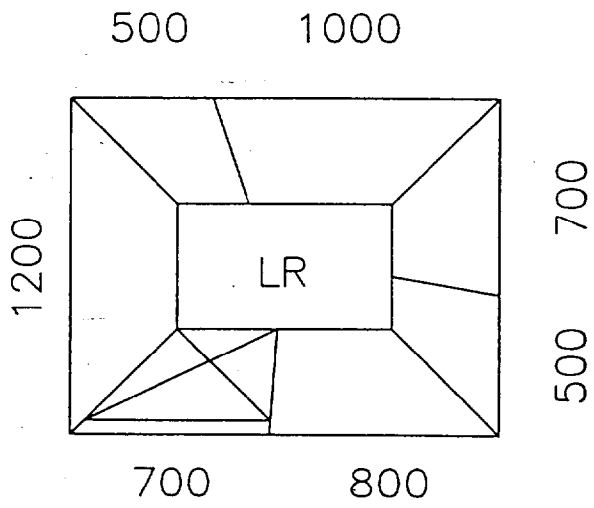
(5)シャワーチェアの補強の取付け（オプション）

パネル裏面より補強材をフレームに対してビス固定し
チェア固定プレートをシリコンで接着します。
（その際、シャワーチェア用受け具も同時に取付けて
おくと便利です。）



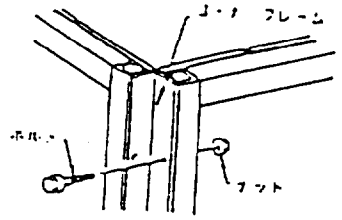

## 壁パネル割り付け図

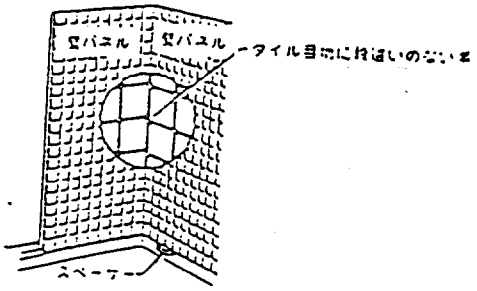


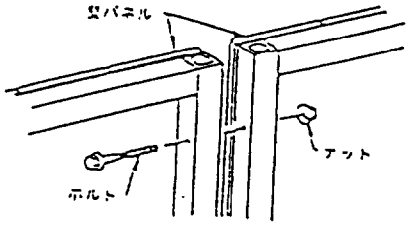



## ２－２パネル組立て

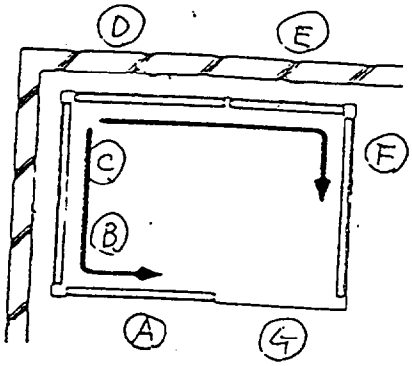
(1)パネルは入隅部分から順に組立ててください。まず、入隅部分にあたる２枚のパネルをコーナーフレームで接続してください。パネル間の接続に際して、特に人が立った場合の目の高さでのパネル間のタイル横目地の通りに注意しパネルを接続してください。



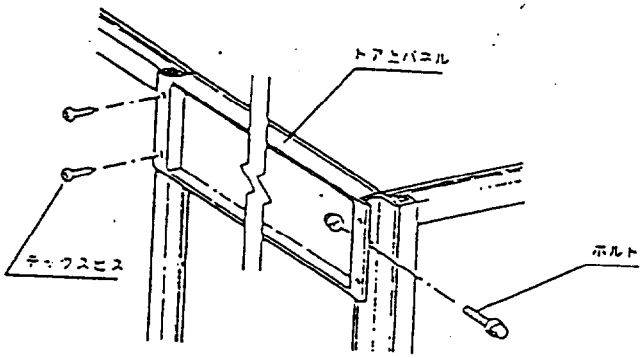



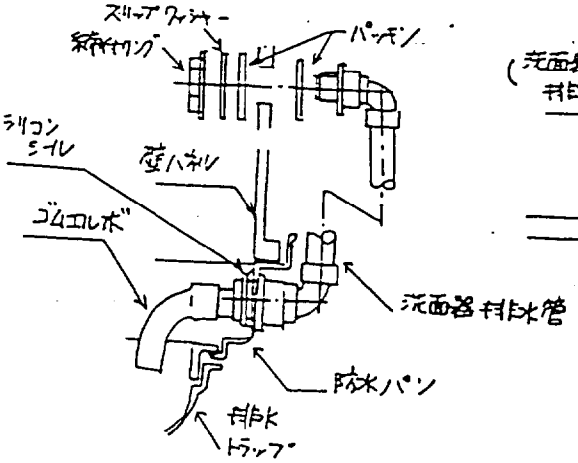

(2)コーナーに続いて右図のような順序でパネルを建込んでください。

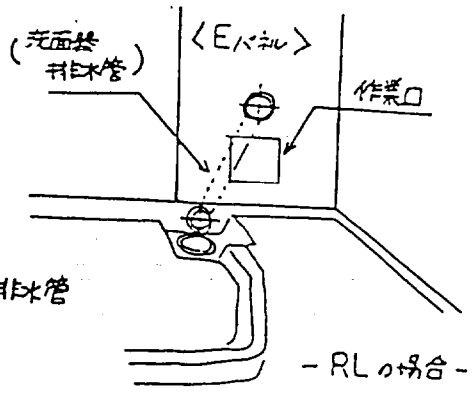



(3)最後に、ドア上パネルを取付けてください。




(4)壁パネルの建込みが終わった後、洗面器裏排水管を作業口より通し、取付けます。
壁パネル、床部共、排水管の締付完了後、シリコンを充てんしてください。

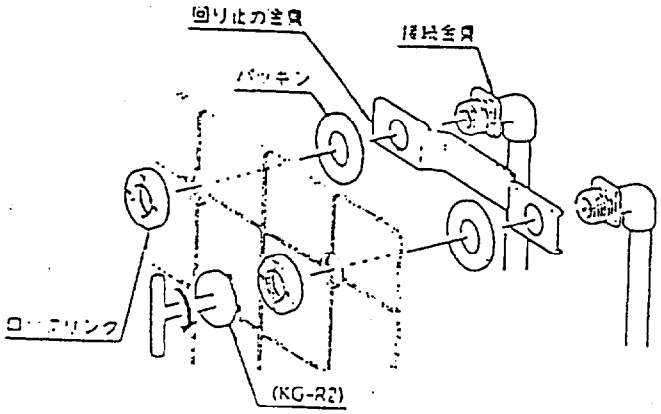


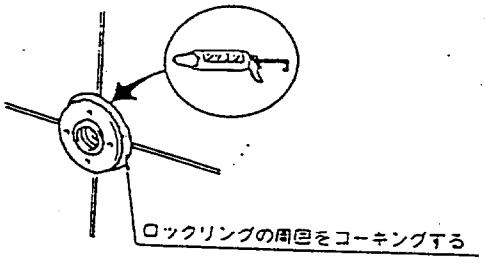
# ３．外部配管の取付け

外部配管の末端には、湯・水表示がしてありますので
間違いのないようにセットしてください。

(1)ユニットルーム内部よりロックリングを専用工具で
　強固に締付けてください。




(2)ロックリング締付け後、ロックリングの回りをシ
　リコンコーキングしてください。



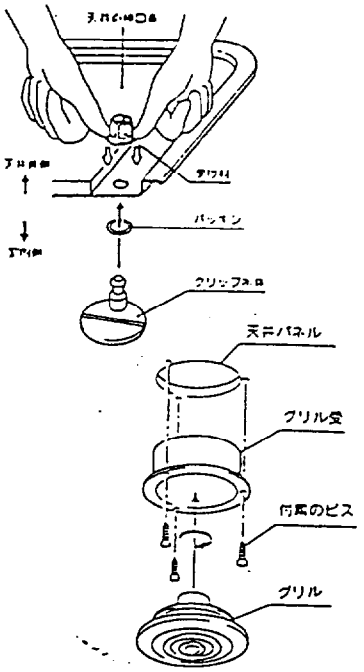
# ４．天井パネルの取付け

(1)壁パネルの上端にシール材を貼ってください。

(2)天井点検口蓋固定クリップの取付け

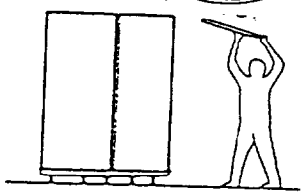
あらかじめ蓋に設けてある下穴(2 箇所)に、クリップ本体をパッキンを介して室内側から差し込み、天井裏側から受け材で固定します。

受け材は、つばのある方を下にして、両手の親指で「カチッ」と音がするまで押し込んでください。




(3)天井パネル養生フィルムをはがし、換気グリルを取付けてください。

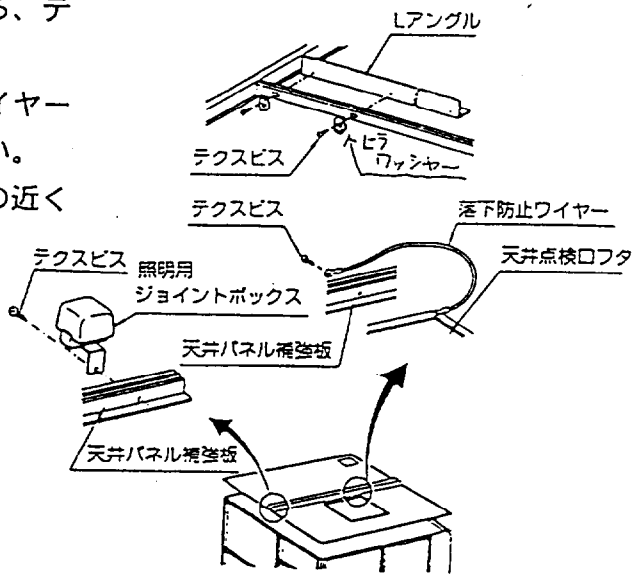
(4)天井パネルを持ち上げパネル上端部に仮置きしてください。



(5)Ｌアングルを天井点検口のない天井パネルの接続部にあてて、Ｌアングルのないパネル側から、テクスビスで接続します。

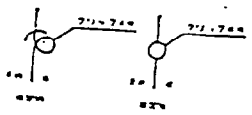
この時同時に、天井点検口蓋の落下防止ワイヤー照明ジョイントボックスを取付けてください。

注）照明用ジョイントボックスは照明器具の近くに取付けてください。

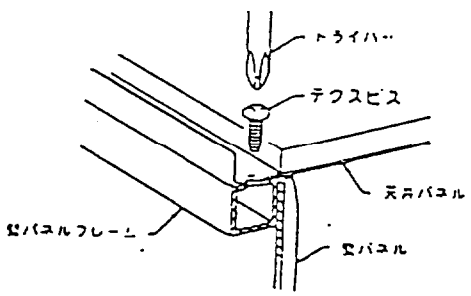



(6)点検口蓋の固定

天井裏での作業が終了したら、クリップをＢ方向及びＥ方向に向けて蓋を点検口にはめ込みクリップを回転させて固定します。



(7)天井パネル外縁部の折り返し面とタイルパネルフレーム外面をあわせ、天井パネル外縁部付近にあいているビス用孔をガイドにして壁パネルフレームにテクスビス固定してください。



# ５．ドアの取付け

扉の建込みに先立って扉にレバーを取付けます。取付方法は、レバー梱包箱の取付け説明書をよく読んだ上で取付けてください。

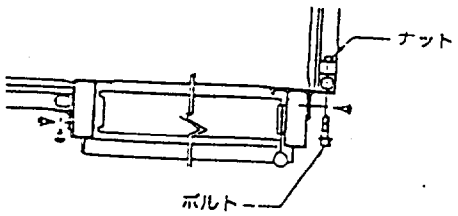
(1)扉が入るパネル左右に扉取付アングルを、ボルトまたはネジで取付けます。

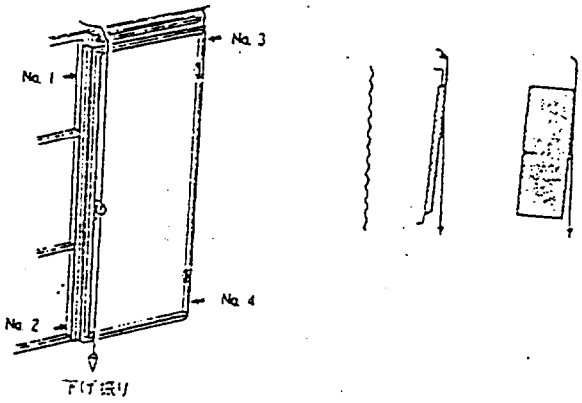
(2)パネル開口部へ枠を納め、扉枠内面とパネル内面を同一面にあわせます。

(3)まず固定はレバー側上端から付属のネジでNo.1を固定します。

(4)上枠から下げ振りを降ろしドアの建てを確認します。

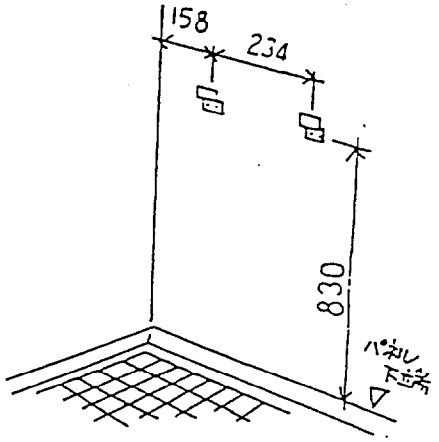
(5)つづいてNo.2を固定し、No.3、No.4の順でネジ固定し、扉の開閉具合い、枠と上下左右のチリを確認し、残りのネジを締めます。




＊ドアの吊元及びロックは商品により異なります。

# 6．ロータンク・便器の取付け




## 6－1ロータンクの取付け

(1)壁パネルに、ロータンクバックハンガー取付位置をマークする。

(2)バックハンガーを取付ける。

(3)ロータンク裏面のフックをバックハンガーに掛ける。

## 6－2便器の取付け

(1)予め、スパッド、ゴムパッキンをこの順に便器の給水口穴に入れておきます。

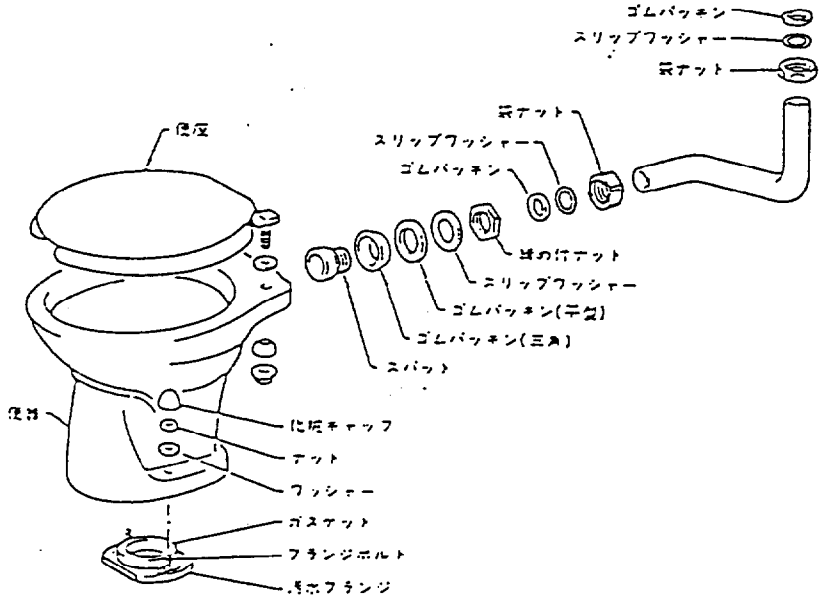
(2)洗浄管にゴムパッキン、スリップワッシャー、締め付ナット等を図の順にはめ込みます。

(3)汚水フランジのホコリを取り除き、ガスケットの接着面をフランジに接着します。

(4)汚水フランジにフランジボルトをセットして、便器を乗せてください。

(5)洗浄管を便器給水口穴に差し込み、汚水フランジボルトのナットで便器を締付け固定します。

(6)ロータンク側の袋ナットとスパッド側の袋ナット等を本締めしてください。




注）ロータンク及びスパッドに付属の各ナットは、樹脂性です。イギリスレンチを正確にナット六角部にセットし、手をあてがいながらゆっくりと締付けてください。

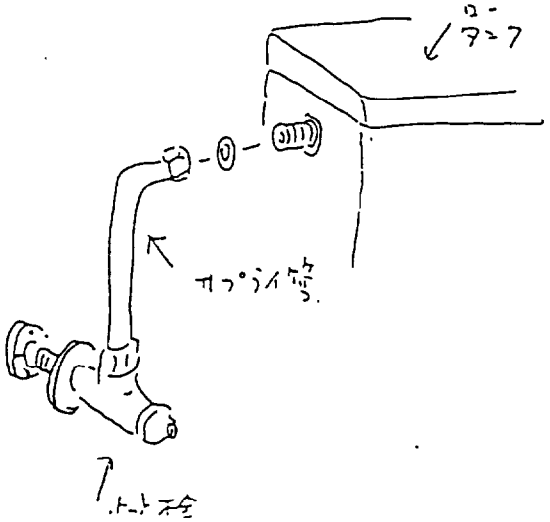
## 6－3止水栓・サプライ管の接続

(1)外部接続金具に止水栓をネジ込みます。

(2)サプライ管を、パッキンを介して固定します。

注)止水栓固定の際には、ヘルメシールを併用してください。

注）シャワートイレ２４０ＵＥ（オプション）の取付の際は、別紙施工要領書を参照ください。またサプライ管の加工が必要です。



# 7．洗面器の取付け

## 7－1 洗面器本体の取付け

(1)壁パネルに、洗面器の取付高さおよび取付芯をマークする。

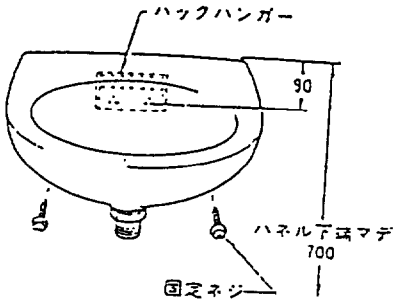
(2)洗面器取付位置のマークを基準にバックハンガーの位置を出す。

(3)バックハンガーを取付ける。

(4)バックハンガーに洗面器を載せ、芯を壁パネルの印に合わせ上から強く押さえる。洗面器の高さおよび水平に据付できているかを確認し固定ネジ取付け穴位置の印をつけ洗面器をはずす。

(5)固定ネジ取付穴用の下穴をドリルで開け洗面器をバックハンガーに載せ固定ビスで固定する。

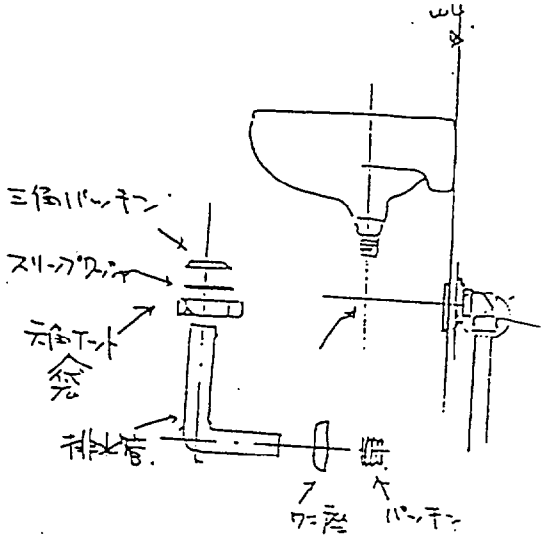
(6)洗面器バック面とパネルとの隙間にシリコンコーキングする。




## 7－2 洗面器排水の接続

(1)排水金具を仮付けし、寸法を出す。

(2)所定の長さに寸法を合わせ接続します。



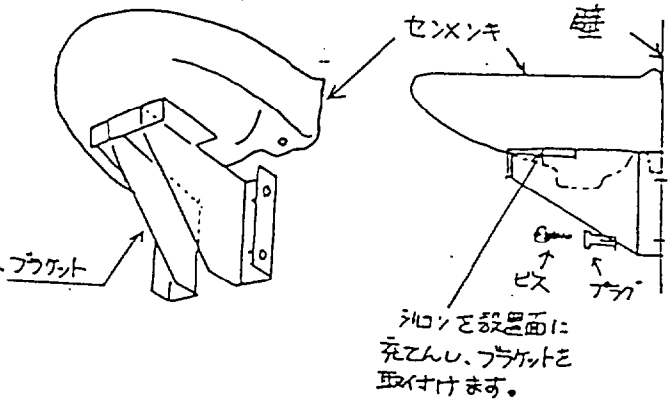

## 7－3 洗面器受けブラケット・洗面器排水カバーの取付け

(1)洗面器を取付後、洗面器に合わせてブラケット仮付けし、取付位置をマークします。

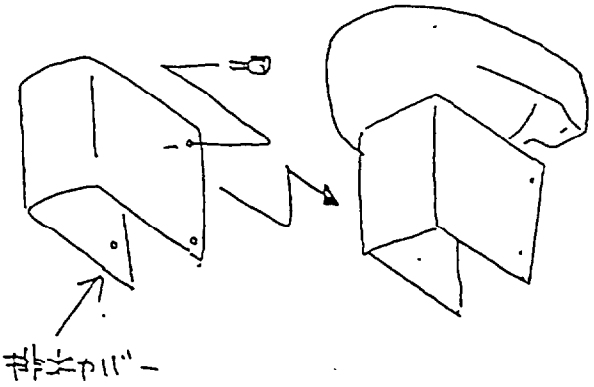
(2)φ5開口を行ない、受けブラケットを取付ける。

(3)受けブラケット取付の際は、洗面器との設置面にシリコンを充填します。

(4)排水カバーを付属のネジで洗面器受けブラケットに固定します。




注）オプションで「しびん収納」を取付の際は、しびん収納を先に取付けてください。

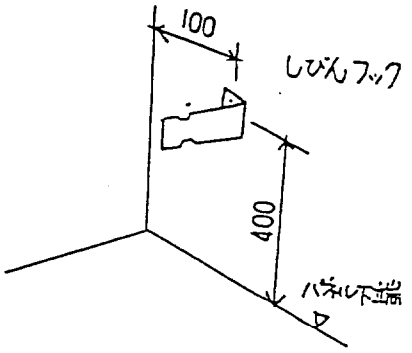


# ８．しびん収納・しびん受けの取付け（オプション）

## ８－１しびん受けの取付け

(1)しびん受け所定の位置をマークしφ５で開孔します。

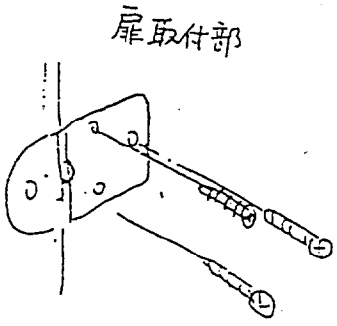
(2)プラグを差し込み、しびん受けをビスで固定します。

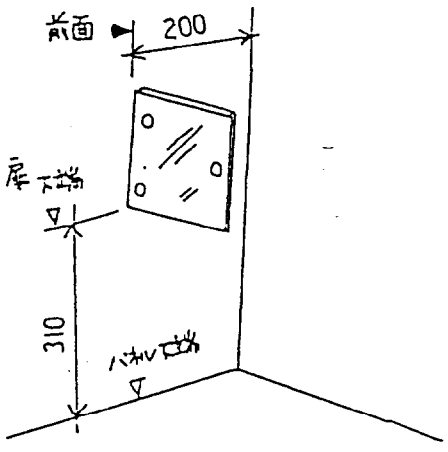



## ８－２しびん収納の取付け

(1)右図の位置に扉を合せて固定部をマークします。

(2)マークした固定部をφ５で開孔し、扉を所定（付属）のビスで固定します。

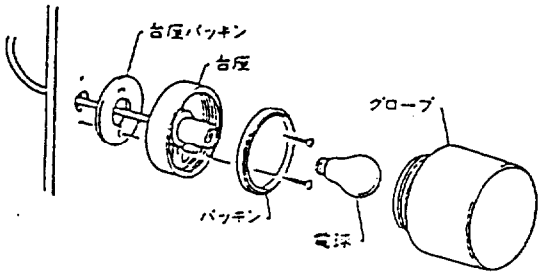


# ９．器具の取付け

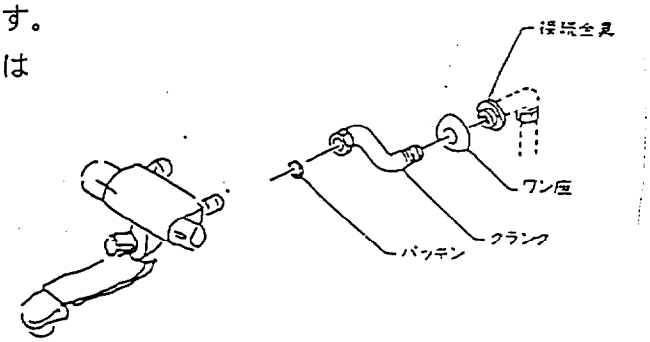
## ９－１照明器具の取付け

(1)照明パネル孔から、器具に取付けられたコードを取り出します。
(2)付属のネジで、台座をパネルに固定してください。
(3)下穴径φ５でプラグを差し込んでシリコンを充てんしてください。



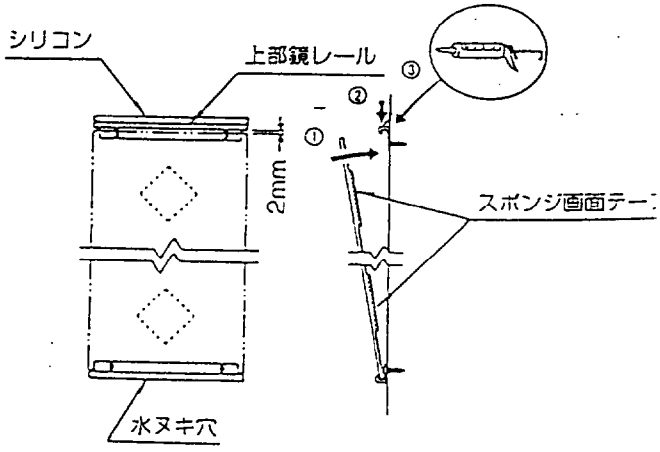

## ９－２水栓金具の取付け

水栓のクランクのオスネジ部にシールテープを巻き（ヘルメシールを併用して使用のこと）前板および壁面にすでに取付けられた接続金具にネジ込みます。
水栓クランクの本体接続部袋ナットにパッキンをはさみ、袋ナットを本体にネジ込みます。




## ９－３鏡の取付け

(1)鏡の取付位置を確認の上、下部鏡レールの位置を決めてください。
(2)マークした部分に下穴を開口し、レールをビス固定してください。
(3)鏡を下部鏡レールに取付け、上部鏡レールの位置をマークしてください。
(4)マークした部分に下穴を開口し、レールをビス固定してください。
(5)鏡裏のスポンジ両面テープの離型紙をはがし、鏡を下部鏡レールに取付け上部鏡レールを降ろして固定します。
その際鏡裏のスポンジ両面テープは、図のように◇の向きに鏡に貼り付けてください。
(6)上部鏡レールは上側にシリコンを充てんしてください。



## ９－４その他の器具の取り付け

(1)棚板、タオル掛、紙巻器等は、取付用穴に従って下穴位置をけがき、下穴をあけて、付属のネジで固定します。

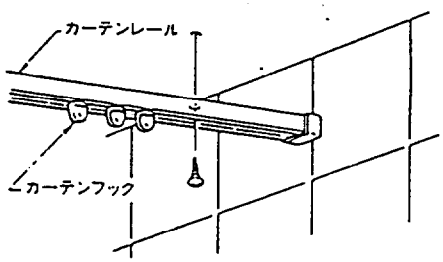
注）樹脂製の小物を取付ける場合は、過度に大きなトルクでネジを締付けると、割れる場合があります。各ネジは、ドリルの説明書に従って、約 15kgf・cm 程度のトルクになるようにレンジを調整ください。

(2)カーテンレールの取付け

①天井パネルのカーテンレール取付位置に下穴をあけプラグを差込みます。

②カーテンレールにカーテンフックを通し付属するネジで天井パネルに固定します。

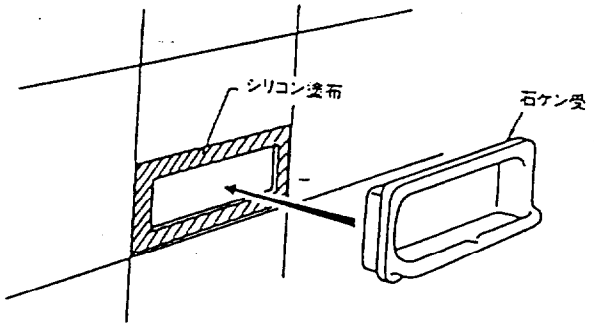
③カーテンをカーテンフックにかけます。




(3)石けん受けの取付

①パネルの取付部にシリコンを塗り、石けん受けをはめ込みます。

②石けん受けと、タイルとの間の目地部には、最後のシリコンシーリングの際にシリコンを充てんします。



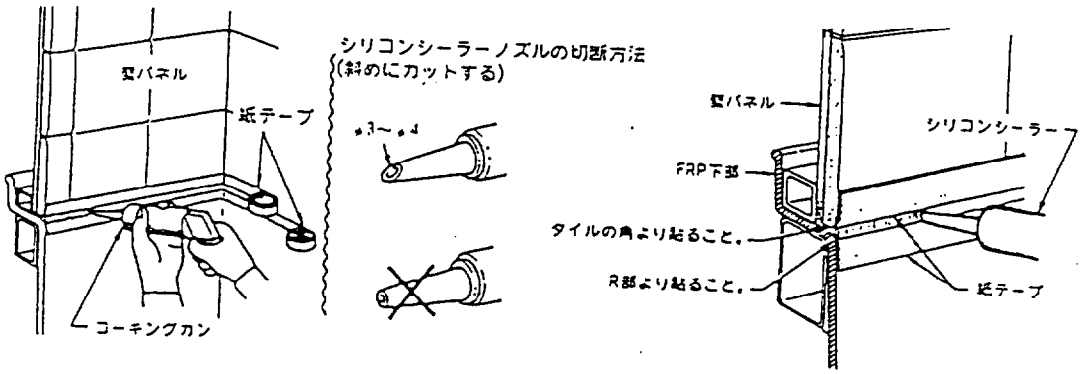
# １０．シリコンコーキング

(1)各接合部のほこり等を除去し紙テープを貼ってください。

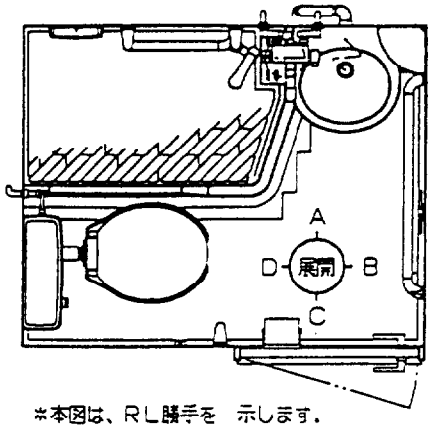
(2)シリコンシーラーノズルの先端を斜めにカットし、３～４ｍｍの穴をあけコーキングガンにセットしてください。

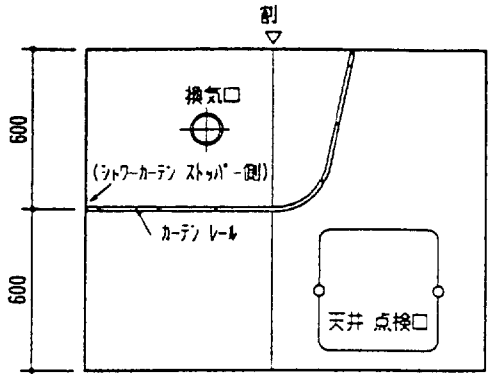
(3)各接合部にシリコンを充てんしてください。

壁パネル・壁パネル接合部
壁パネル・本体下部接合部
壁パネル・ドア枠間
壁パネル・天井接合部
壁パネル・アクセサリー取付部
天井・天井接合部



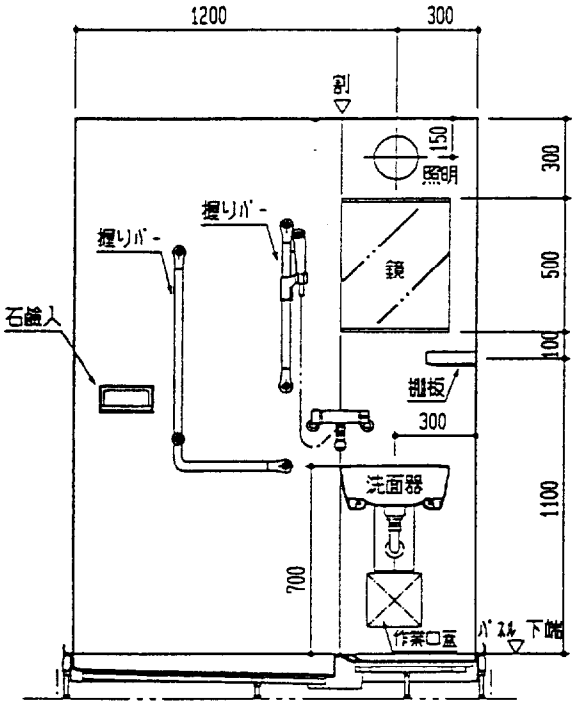
# 器具取付け位置図



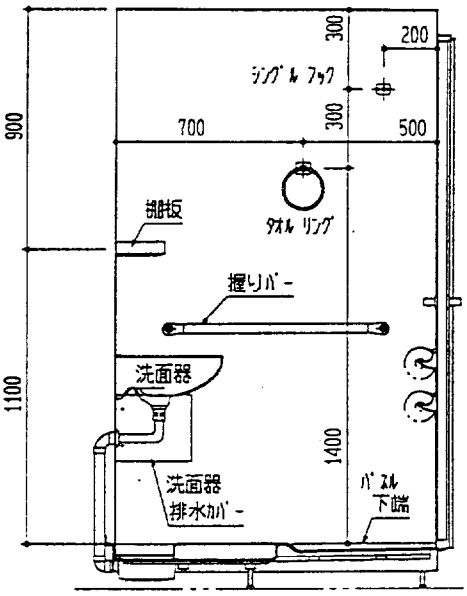




＊本図は、RL勝手を 示します。
＊ドアの吊もとは、外開き、右吊もと となります。

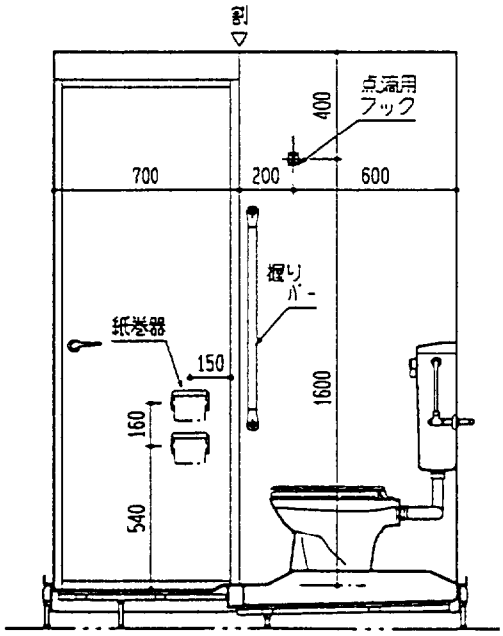
本図は、RL勝手 標準仕様の場合を示します。
1)水栓器具、便器給水口は、バスル孔加工済みです。
2)握りバーの取付け部は、バスル孔加工済みです。
3)石鹸入れ取付け部は、バスル孔加工済みです。
4)照明器具 コード貫通部は、バスル孔加工済みです。
＊特記外の器具は、図面参照の上 現場加工ください。



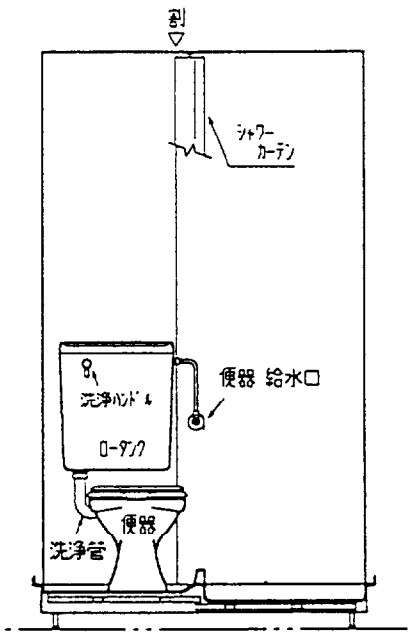

A




B




C

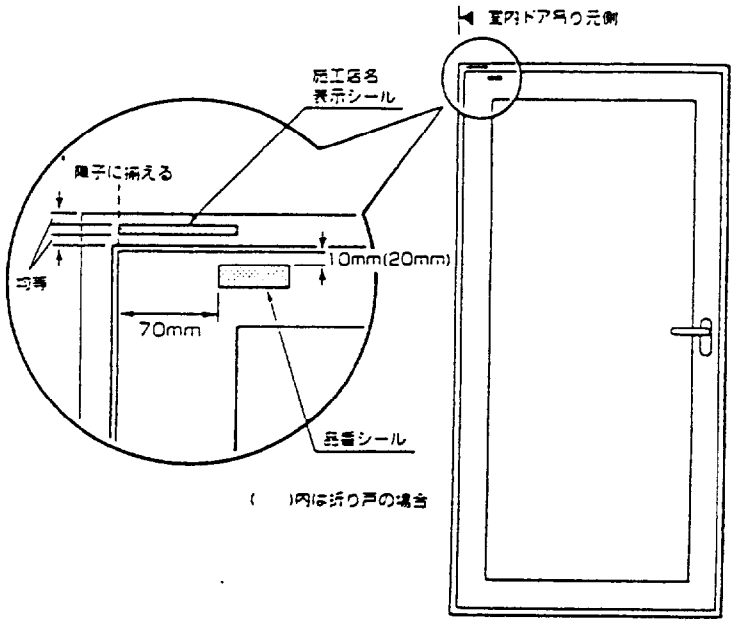



D

# １１．施工後の確認

## １１－１品番シールの貼付け

品番シール、施工店名表示シールを室内ドア吊り元側の所定の位置に貼り付けます。




## １１－２施工後の確認

「ユニットバス工事完成検査チェックシート」（ヨ－ＰＵ１１９）の記載の点検項目に従って各部の点検を行い、器具のガタツキや漏電、水漏れなど安全上の不具合がないことを確かめてください。

## １１－３引き渡し

①検査チェックが終わったらチェックシート（ヨ－ＰＵ１０９）に建築工事責任者のサインをもらい、写しを渡してください。

②取扱説明書をお渡しください。

株式会社INAX

本　　社 ☎0569-35-2700　札幌支社 ☎011-271-1701　東北支社 ☎022-263-1710　東京支社 ☎03-5541-7111
西東京支社 ☎0425-27-3341　横浜支社 ☎045-242-1710　千葉支社 ☎043-227-8171　埼玉支社 ☎048-668-1177
東関東支社 ☎028-637-3379　関越支社 ☎0273-27-1793　甲信支社 ☎0263-36-2166　名古屋支社 ☎052-201-1717
静岡支社 ☎054-251-1710　北陸支社 ☎0762-64-1710　大阪支社 ☎ 06-539-3500　京滋支社 ☎075-222-1794
広島支社 ☎082-223-1710　四国支社 ☎0878-21-1701　福岡支社 ☎092-282-3151　南九州支社 ☎095-322-1794

品番 PPU—

暫定版